

表7 苗越冬直前の状態(2)

播種期	乾物重率			可溶性全糖		還元糖	
	葉	莖	直根部	莖直	根部	莖徑	直根部
9月10日	12.4 %	20.06 %	19.87 %	1.05 %	0.95 %	0.30 %	0.26 %
9月15日	12.5	19.31	19.89	1.04	1.03	0.29	0.22
9月20日	14.9	18.49	19.32	1.12	1.09	0.43	0.26
9月25日	14.3	15.57	19.15	0.97	0.93	0.46	0.36
9月30日	14.7	13.50	19.55	—	0.85	0.53	0.47

越冬前の苗の乾物重率、糖分について調査した結果は表7の通りで莖部の乾物重率は播種期が遅れ苗令が小さいもの程小さく成り還元糖含量では播種期が遅れるにつ

れて多くなっており越冬生存率と苗令の差異による還元糖含量との間に一定の関係が想定される。

表8 収穫結球の大きさ

播種期	総重	結球重	葉数			花莖長	莖徑
			外葉	結球葉	未展葉		
9月10日	946 g	468 g	10.4 枚	16.9 枚	12.6 枚	4.5 cm	3.4 cm
9月15日	819	480	9.3	15.5	11.2	3.8	3.2
9月20日	702	435	7.5	13.9	11.1	3.3	3.1
9月25日	767	455	7.9	14.5	10.7	3.6	3.2
9月30日	809	448	8.4	14.9	10.9	3.9	3.2

表9 収穫期、抽苔、腐敗率

播種期	収穫期	抽苔率	腐敗率
9月10日	6月7日	3.7 %	6.0 %
9月15日	6月6日	1.3	16.1
9月20日	6月8日	0	14.2
9月25日	6月9日	0	11.8
9月30日	6月9日	0	3.7

結球の収穫状況は表8、9の通りで越冬生存率の良い9月25日、30日播のものには収穫期が6月上旬と成り抽苔せず緊度の良い結球を収穫することが出来た。

3. 総 括

玉ちしやの本県地方での栽培法を明らかにする為その

作型、適品種について検討した。

1 玉ちしやの春作の適品種はグレイトレイク 306 で晩抽台性で結球緊度が良い。

2 玉ちしやの春作で完全結球を収穫できる播種期は2月下旬～4月上旬でその収穫期は6月上旬～7月中旬である。

3 玉ちしやの秋作に適する品種はペンレイクでその播種期は7月下旬で収穫期は10月中旬である。

4 玉ちしやの秋播春種栽培で越冬生存率の最も良い播種期は9月下旬で生存率約80%であり越冬直前の苗の大きさは展葉数6.4～8.2枚で結球の収穫期は6月上旬であつた。

甘藍「東北4号」の育成経過ならびにその特性概要

* **
佐 藤 勇 ・ 中 川 春 一 ・ 逸 見 俊 五

(園試盛岡支場)

1. 緒 言

東北の甘藍は出荷用又は越冬用野菜として重要なものであり、昭和37年度の統計によれば作付面積は5,210町歩、9,790トンに達している。栽培様式は春播と秋播に分けられ、春播用品種の中では「南部甘藍」の占める割合も少なくない。しかるにこの品種は一般に、病虫害に強く栽培管理も極めて容易な上貯蔵性輸送性のある反面、

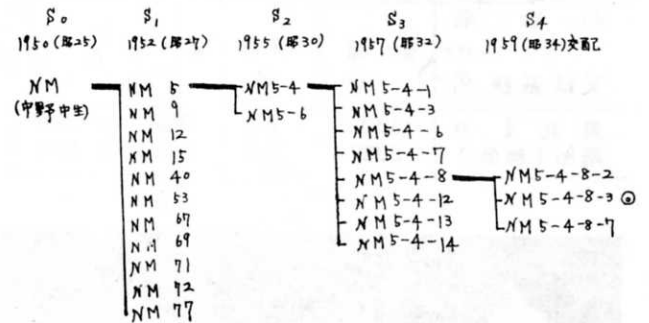
品質が悪く市場性に乏しい欠点がある。

この点の改良を目的として1946年以降農林省古川農事改良実験所岩沼試験地で、1951年以降東北農試園芸部で、1961年以降園試盛岡支場において同系繁殖並びに不和合性利用による品種間一代雑種の優良組合せを検索していたが、一応初期の目的を達した組合せを見出したので甘藍「東北4号」の系統名をつけて普及することにした。ここにその育成経過と特性の概要を発表する。この試験

の実施に当り御指導をいたした森支場長、御協力をいたした上村技官はじめ研究室員各位、地域適応性について御協力いただいた岩手県園芸試験場の担当官各位に対して謝意を表わしたい。

2. 育成経過の概要

1949年農林省古川農事改良実験所岩沼試験地で、岩手県沼宮内町久保源吉氏より分譲をうけた「南部」並びに、1950年東京都中野庫太郎氏より分譲をうけた「中野中生」に対して、同系繁殖を行い優良形質の確保につとめると共に自家不和合性の高い系統を選抜しつつあつたが、「南部」は自殖第5代で又「中野中生」は同4代で、実用形質が良好で不和合性の点でも一代雑種採種に支障のない系統を育成し、1959年両系統間で交配を行い供試した所良好な成績を示したものである。なおこの片親である「519-100-7-5-20」は種々組合せの結果、腐敗病に強い一代雑種の出現する率が高く、交配親としても利用性が高いものと思われる（系統図は第1図・第2図参照）。



第2図 中野中生の系統育成図

3. 特性の概要

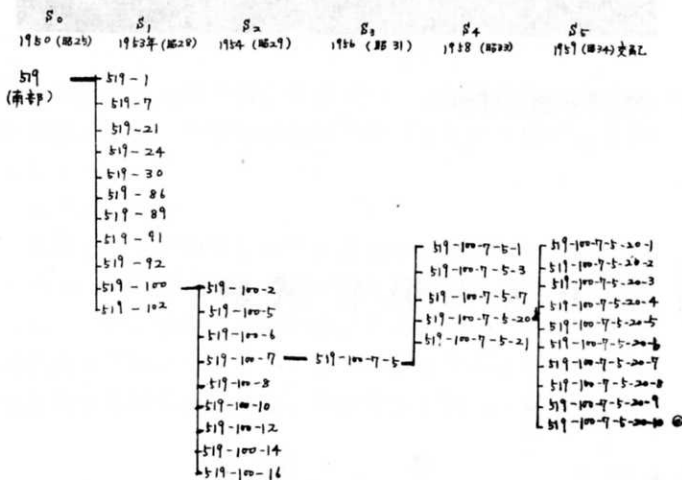
東北4号とその両親の特性は第3図並びに第1表・第2表に示す通りである。熟期は春播を行い晩夏～初秋どりの場合115日～120日を要する中晩生に属し、球重は2kg前後、葉色は濃緑でブルームはやや多く、皺は少ない。耐暑性強く、高温乾燥時でも生育は良好である。夏季に発生する腐敗病に強く、裂球しにくく、又収穫後の日持ちも比較的良好である。収量は10a当り6,000kg内外で、標準に比べて約20%の増収である。又岩手町川口における2ヶ年間の現地試験においても約46%の増収率を示している。（第3表参照）

4. 適応性

以上の諸点より、現在東北地方で春播甘藍の「中晩生南部」が栽培されている地帯に適するものと思われる。

文 献

- (1) 岩手県園芸試験場：そ菜花奔部試験成績概要、昭和36・37年度（とう写）



第1図 南部の系統育成図

第1表 「甘藍東北4号」の特性概要(1)

品 又 は 系 統 名	草勢	葉色	ブルーム	波	皺	耐病性	早晩生	整一度	球 型	収穫所 要日数	肉質	調 査 年 次
東 北 4 号	極良	中濃	多	中	少	強	中 晩	極 上	中 大	117(日)	軟	昭 3 5 年
長野交配中生(標準)	普通	青緑	多	少	中	中	早 晩	上	中 小	107	硬	昭 3 5 年
豊田交配夏時()	良	青緑	多	極多	少	強	中 晩	中 上	中 小	122	硬	昭 3 5 年

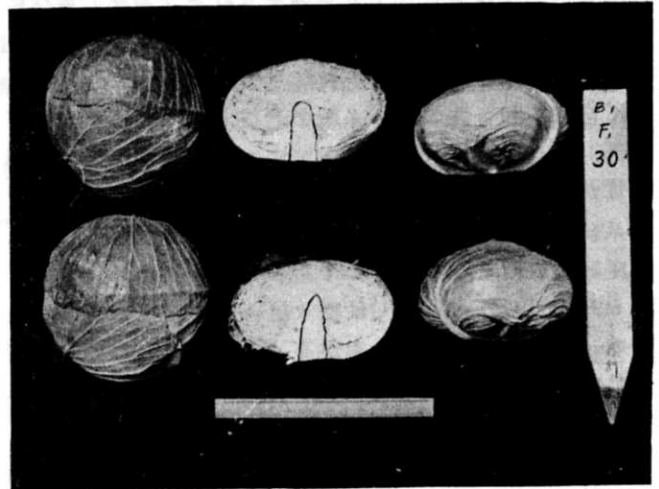
第2表 「甘藍東北4号」並にその両親の特性概要(2)

系統名又は品種名	全 重 (g)	球 重 (g)	外葉 数 (枚)	球葉 数 (枚)	球		最大外葉		緊度	芯長 (cm)	芯巾 (cm)	裂球 率 %	腐敗 率 %	10a 当 換算収 量 (kg)	同 同比率
					縦径 (cm)	横径 (cm)	葉長 (cm)	葉巾 (cm)							
東 北 4 号	3,808	2,217	13.4	48.9	13.5	21.2	42.7	43.4	4.0	7.6	3.4	0	0	6,141	121.8
長野交配中生(標準)	3,178	2,824	12.5	55.3	13.3	20.8	33.6	29.3	4.0	8.5	3.2	20.0	16.9	5,038	100.0
豊田交配夏時(標準)	3,135	1,552	17.6	42.4	13.0	17.5	38.8	36.0	4.0	9.1	3.2	1.8	0	4,531	89.9
519-100-7-5-20	—	1,390	9.3	43.3	12.9	17.6	44.2	45.2	3.5	9.0	2.8	0	18.6	3,283	—
N M 5-4-8	—	1,995	13.4	44.6	14.2	22.2	41.5	36.4	3.0	9.7	3.0	0	1.8	5,581	121.6
中 野 中 生 (標準)	—	1,855	17.9	50.2	13.6	23.2	40.9	37.6	3.0	9.7	3.5	0	7.1	4,589	100.0

注 1. 緊度は0～4の5段階で、0は不結球。4は最もかたく結球し、3及4は販売に支障なきもの。
2. 調査年次は上記より3品種は昭和35年、519-100…は昭和33年、下の2品種は昭和32年である。

第3表 岩手町における特性並びに収量(1961・1962平均)

品 種 名 又は系統名	全 重 (g)	外葉数 (枚)	球 重 (g)	球		葉 数 (枚)	芯 長 (cm)	維病率 (%)	不 結 球 率 (%)	10a当 量(kg)	比 率 (対標 準)
				横 径 (cm)	縦 径 (cm)						
東 北 4 号 南部(標準)	3,543	9.6	2,323	20.0	15.5	59.8	10.0	9.2	2.1	5,973	146.4
	2,819	14.6	1,523	17.6	12.4	57	8.2	5.0	2.1	4,079	100



第3図 甘藍「東北4号」の結球状態と球形

鉄剤の応用による新生子豚の発育試験

伊 藤 菁

(岩手県畜試)

1. ま え が き

従来鉄の補給には土に接触させて、土壌中の鉄を利用させる方法が構じられていますが、最近岩手県でも改良豚舎で飼養する養豚農家が増え、之等コンクリート床で飼養している仔豚に、冬季貧血症状が現われ発育不良となる事から、当場にて比較的簡単に且つ確実に貧血を予防出来るデキストラン鉄の筋肉注射による効果を、仔豚の発育について比較したので、その成績の概要を報告する。

2. 試 験 方 法

1. 供試材料

(1) 供試豚…当場繁養のヨークシャー種の母豚9頭より生産した哺乳仔豚74頭を使用した(第1表参照)。

第1表 供試豚

母 豚 No	母 豚 の 名 号	産 次	分 娩 月 日	分娩 数	供試仔豚頭数		
					♂	♀	計
1	ニュートンロビンコー ーセキミズ 11~2	4	37.2.19	10	6	4	10
2	ヤマシナロビンクホ3~1	4	37.3.3	12	8	4	12
3	スイントニワボク 59~49	4	37.3.5	8	2	3	5
4	タマコキヒストンアキ1~3	4	37.3.6	9	3	6	9
5	・ コソドー 3	3	37.3.8	7	3	2	5
6	シヨーンヒストンマイ デコズカ 2~2	3	37.4.1	8	2	4	6
7	カナ60アツブポールフ ジランス 10~2	2	37.4.4	9	4	5	9
8	ニュートンサカエイ ンバクリハラ 2~5	2	37.4.20	8	6	2	8
9	スイントニワボク60~29	2	37.4.25	10	4	6	10
計				81	38	36	74